

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 14 - 1

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	医師確保対策事業					
評価者	担当課名	国保病院		担当係名	庶務係	
	管理職	職名	事務長	作成者	職名	庶務係主査
		氏名	高見 雄二		氏名	吉田 達也
事業の概要	地域医療体制を維持するため内科医師1名を確保する。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 2,500 千円 一般財源 千円 事業費計 2,500 千円		
実施方法	■ 直営	民間委託		その他 ( )		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単位施策	5 地域医療体制維持の確立				
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	99 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	99 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	常勤医師の確保による安定した医療体制の確立	内科医師			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	常勤医師を確保し安定した診療体制、上質な医療の提供を目指す	① 内科医師1名	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	1	
			実績値	1	
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域住民への安定的な医療提供が可能となり、町民の健康・安全の確保が図られる	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
医師確保対策	病院ホームページでの募集、民間紹介業者への業務委託等				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	安定した医療体制を維持していくためには、必要な事業であり、地域における医療の安全確保は町としての責務と考える
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要/概ね必要/ 課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	目標である医師1名は確保できた
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効/概ね有効/ 課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	費用においては、コストの削減が図られたので、効率的であったと思われる
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
効率的/概ね効率的/ 課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	安定した医療の提供体制は町民が常に望むものであり、本事業は公平であると思われる
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	
公平/概ね公平/ 公平でない		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
安定的な医療の供給、体制の確保は町として必要不可欠な事項であり、今後も常勤医師確保のため本事業を進めることが適当である。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)		
<b>継続/現状維持</b>	<b>継続/現状維持</b>	
地域における常勤医師の確保は非常に難しく全国的な問題であるが、医療の根幹を支える部分であることから、当面、事業を継続し現状維持することが必要と判断される		
* 展開方向の区分 <input type="radio"/> 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止		

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 14 - 2

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	病院情報ネットワークシステム整備事業					
評価者	担当課名	国保病院		担当係名	庶務係	
	管理職	職名	事務長	作成者	職名	庶務係主査
		氏名	高見 雄二		氏名	吉田 達也
事業の概要	安定且つ、迅速な医療体制を確保するため医事・会計・オーダリング等システムの更新を行う。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 5,000 千円 地方債 千円 その他 82,171 千円 一般財源 千円 事業費計 87,171 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単位施策	5 地域医療体制維持の確立				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	5,000 千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	4,406 千円	18,673 千円	18,673 千円	18,673 千円	18,673 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	9406 千円	18673 千円	18673 千円	18673 千円	18673 千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	迅速な医療サービス提供体制の構築	電算システム更新数				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	システムの整備により安定した医療の提供と迅速なサービスの提供を目指す	① システム更新3件	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値
			目標年度	20年度		
			目標値	3		
			実績値	3		
達成度	100.0 %					
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定した医療の提供とスムーズな会計処理、多様化する健診業務の受託が可能となる	②	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値
			目標年度			
			目標値			
			実績値			
達成度	%					
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
電算システムの更新	● 医事・会計・薬品在庫システムの更新 ● 健診システムの更新 ● レセプト電算化の整備					

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	安定且つ、迅速な医療体制を維持していくためには、医療ネットワークシステムの計画的な更新は必要な事業と考える
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要/概ね必要/ 課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	医事・会計システムの更新によりレセプトの電算化が図られ、さらにオーダーリングシステムの更新により医療の迅速な対応及びサービスの向上が可能となる。また、健診システムの更新により受診者の増加が見込まれる
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効/概ね有効/ 課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	院内ネットワークシステムの更新により安定した医療の提供と事務処理、業務の迅速化及びサービスの向上が図られたので、概ね効率的であったと思われる
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的/概ね効率的/ 課題あり		

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	安定した医療体制及びサービスの向上は町民が常に望むものであり、本事業は概ね公平であると思われる
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	
公平/概ね公平/ 公平でない		

### 4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
安定的な医療の供給及びサービス提供体制の確保は町として必要不可欠な事項である。システム機器の更新については、必要性を十分に検討する。		

<b>今後の展開方向 (Action)</b>	↓	↓	↓
<b>継続/現状維持</b>			
医療システムの更新は多額となる部分であるが、安定した医療及びサービスを提供するため、当面、事業を継続し現状維持することが妥当と判断される			
* 展開方向の区分 ○ 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更    ○ 終了    ○ 休止    ○ 廃止			

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 14 - 3

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	医療機器整備事業					
評価者	担当課名	国保病院	担当係名	庶務係		
	管理職	職名 事務長 氏名 高見 雄二	作成者	職名 氏名	庶務係主査 吉田 達也	
事業の概要	安定した医療体制を確保するため必要な医療機器の整備を行う			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)		
				国・道支出金	千円	
				地方債	23,700 千円	
				その他	20,114 千円	
				一般財源	千円	
			事業費計	43,814 千円		
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ( )			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武 ~ 保健・医療・福祉の充実 ~				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単位施策	5 地域医療体制維持の確立				
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	23,700 千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	114 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円	5,000 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	23814 千円	5000 千円	5000 千円	5000 千円	5000 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化に伴う更新整備	安定した医療提供の機器整備	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	検査機器等の整備により、安定した医療の提供を目指す	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
		① 検査、診療機器の整備	目標年度 20年度
			目標値 2
			実績値 2
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	安定した医療体制が確保され、町民の健康保持・増進が図られる		達成度 100.0 %
		②	目標年度
			目標値
			実績値
		達成度 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
医療機器の購入	●心電図計購入 ●一般撮影用医用画像システム購入		

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要/概ね必要/ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	安定した医療体制を維持していくためには、医療機器の計画的な更新は必要な事業と考える
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効/概ね有効/ 課題あり	設定した目標値の達成状況	×線機器、心電図検査機器の更新整備により、診療業務の迅速化が図られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的/概ね効率的/ 課題あり	判断の理由	費用においては、レントゲンのフィルムレスによる経費の削減及び心電図検査の時間短縮等、作業の迅速化が図られたので、概ね効率的であったと思われる
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平/概ね公平/ 公平でない	判断の理由	安定した医療体制は町民が常に望むものであり、本事業は概ね公平であると思われる
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
安定的な医療の供給、体制の確保は町として必要不可欠な事項である。機器の更新計画については、緊急性・必要性を十分に検討する。		

<b>今後の展開方向 (Action)</b>	↓	↓	↓
<b>継続/現状維持</b>			
医療機器の更新は多額となる部分であるが、安定した医療を提供するため、当面、事業を継続し現状維持することが妥当と判断される			
* 展開方向の区分 <input type="radio"/> 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止			

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)